

# (仮) 広域連系北幹線新設事業

## 環境影響評価準備書に対する 市民意見及び事業者の見解

令和3年 8月

東北電力ネットワーク株式会社

## 1. 意見書の対象

仙台市環境影響評価条例に基づく意見書の提出期間(令和3年5月21日から令和3年7月5日)(消印有効))に郵送・FAXにて受領したものを意見書の対象とした。

## 2. 意見書の数

2通

## 3. 意見の数

意見の総数は3件であり、生態系保全および景観に関するものであった。

## 4. 意見の数

意見の概要及び事業者の見解は以下のとおり。

### 準備書に係る意見の概要

	意見の概要	事業者の見解
1	戸神山山麓のセイゾウ池に生息するモリアオガエルは貴重な資源である。事業の施工にあたり、保全に配慮してほしい。 (同様の意見が他1件)	セイゾウ池周辺においては、工事用運搬道路の新設を計画しておりますが、モリアオガエルの産卵に影響のないよう、セイゾウ池から30m程度の樹林帯緩衝地を確保します。また、産卵期以外の時季においては、産卵地から離れて活動することを考慮し、生息・行動への影響を低減するため、工事用運搬道路の新設後速やかな道路法面への植栽の実施によって生息環境の回復を行ってまいります。
2	戸神山は地域の大切な水神を祀る山であり、その景観を守ることが必要。	戸神山は、山麓も含めて県立自然公園二口溪谷特別地域に指定されていることから、鉄塔及び工事用運搬道路の設置にあたっては、当該特別地域を回避した位置又はルートを選定しております。一方、戸神山の周辺には鉄塔を建設することになるため、戸神山を望む景観については、より目立たない塗色として、反射しにくい、灰色を基調とした色彩を選定し、戸神山やその周辺の自然景観との調和に努めます。(準備書 p8-514、8-515 参照)